

別記様式（第5関係）

会 議 録

会議の名称	文化芸術振興に関する条例骨子についての意見交換会
開催日時	平成19年9月19日（水） 19時00分 から 21時00分 まで
開催場所	保谷庁舎4階第4会議室
出席者	（出席者）西東京市文化芸術振興施策懇談会元委員7人 西東京市民文化祭実行委員3人 （生活文化課）三芳課長、佐々木主任、林主任
議 題	1. これまでの経過、条例骨子、今後の方向性 2. 意見交換
会議資料	1. 【条例骨子作成までの経過】 2. 【提言『西東京市の文化芸術振興施策について』】 3. 【文化芸術振興基本法、都・区市町村条例】 4. 【条例骨子】 5. 【今後のイメージ】
会議内容	<p>全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録 【1】担当紹介、出席者自己紹介 【2】骨子作成までの経過、条例骨子、今後の方向性について説明 【3】意見交換</p> <p><全体> 提言の中に「洗練された」という言葉が出ているが、地方都市の文化の中心は地域に根ざした活動ではないかと考える。 提言の中では、地域の文化活動も大切にしながら、子どもたちが文化芸術に触れることに重点を置き、また他の都市と同じではなく、そこから一歩でたものを目指す方向性である。 骨子の中では文化は誰かに与えられるような印象があるが、条例前文に、文化は市民生活そのものであることを入れてもらいたい。 文化祭のような文化を支える土台のようなものと、より高いレベルを目指す双方が必要と考える。 文化芸術のレベルを高めるといふより、文化は市民生活に奉仕する姿勢が必要と考える。 行政が文化の視点を持った取り組みをする、行政の文化化が必要である。</p> <p><市の役割> 財団の解散に伴い、財団の資金の寄付があると思うが、それを基金に当てるとの考えはないのか？ →現時点では白紙の状態である。</p>

こもれびなどのホールは生活文化課で文化祭などは教育委員会だが生活文化課と教育委員会の文化関係の住み分け、役割分担はどうするのか？

→今後、調整を行っていく。

市の役割の中に、教育委員会と生活文化課など縦割り行政の解消に向けて庁内の調整を入れてもらいたい。

<市民の役割>

文化芸術活動において、市民が主体であると考えたと4項目「市民の役割」と「市の役割」について、順番が逆で市民が先だと思う。提言においても市民が先のはず。

<団体等の役割>

「団体等の役割」については、規定の内容の頭に「団体」と入れた方がよい。

「団体等の役割」について、「企業・学校等が…」は違うと思う。企業・学校が文化芸術の主体ではないと思う。

<計画等の策定>

計画の策定は良い。

計画は文化を担っている市民が策定・推進し、行政はそれを応援する立場でよいと考える。文化祭のように計画・実行は市民、行政は予算や会場提供のようなスタイルがよい。条例の制定が今までの文化祭のやり方にどのような影響があるか不安である。

<重点目標または基本施策>

「重点目標または基本施策」に「子どもに対して…」と記載しているが、その中に、「自己表現する機会の充実」も入れてほしい。次の「地域の文化芸術の魅力…」の具体的なイメージが掴みにくい。提言にある文化芸術月間のようなものをイメージしていいのか？

→それも一つの案としては含まれる。

「重点目標または基本施策」の「子どもたちに…」に「自己表現する機会の充実」は骨子なのでなくてもよい。

<推進機関>

「推進機関」は名称が適切でない。機関の中身をもう少し具体的に規定したほうが良い。

推進機関の「推進」という言葉は正しくないのでは、評価といった言葉の方が正しいのではないか。推進機関がどういったメンバーで運営されるかが気になる。

公民館の事業においても、職員だけでなく市民の意見をもとに進めているところもある。市民の力を活用した文化芸術振興を進めていく必要がある。「推進機関」については、あやふやで理解しにくい。

誰の役割なのか、どのくらいのスパンで見直しを図るのが見えない。

<文化芸術活動施設の運営>

「文化芸術活動施設の運営」の文化芸術活動施設の範囲が捉えにくい。こもれびホールや市民会館をさすのか？公民館もはいるのか？
→文化芸術に関する活動を行う施設全般を考えている。